

令和6年度自己評価結果公表シート

宝珠学園幼稚園

1. 本園の教育目標

本園は、早期における人格形成と倫理観の確立を目標に「こころ」を重視した保育活動を行っています。努力する心と感動する喜びをはぐむ体育・音楽教育、基礎能力を遊びの中から自然に引き出す知育教育など、バランスある保育活動を展開しています。

- ◇敢為進取 何でも積極的に進んで事にあたる
- ◇責任自主 自分のことは自分でする
- ◇誠実勤労 何事にも真心を持って骨惜しみしない

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

若い人材を採用し、当園の教育理念を理解し長く活躍できるよう育成していくための環境作りに取り組む。

子どもの健康に細心の注意を払い保育活動を行う。特に近年の気温上昇による熱中症等の体調不良を予防するための対策を講じる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
若い人材の採用と育成	B	来年度の新卒者を採用するにあたって、給与体系を見直し基本給、各種手当を大幅に改定し、募集を行った。 今回は新卒者の採用には至らなかったが、今後も引き続き募集を行っていく。
子どもの健康	A	子どもの様子に気を配り、体調の変化を見逃さないよう心掛けた。 本年も気温の高い期間が長く見込まれたため屋外での保育活動を見直し行事の開催日程を調整し、熱中症のリスクの軽減に努めた。
教育の質の向上	A	定期的に園内ミーティングを実施し、知識や情報を共有し、教育の質の向上のためのチームワーク作りに努めた。 客観的に子どもを見る目を養うよう努め、子ども一人一人の良いところを認め、評価するよう心掛けた。
教員の補強	B	本年度は教職員の中途採用は行わず、人材の補強には至らなかったが、年度末に3名の教員が退職することになったため、来年度から保育の補助を行ってもらう非常勤の教職員を5名採用し欠員を補うことができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	本年度の目標や計画の達成のためにその趣旨を理解し、全教職員がおおよそ保育内容の向上に努めることができた。 常に子どもの健康を第一に考え、保育活動を行うことができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
若い人材の確保	引き続き、新卒者を含む若い人材を確保するための環境をどのように作っていくかが課題。
入園につながる情報の発信	少子化の中にあって、どのようにして当園の魅力を発信し、一人でも多くの子どもに入園してもらえるようアピールしていくかが課題。

6. 学校関係者の評価

子どもの熱中症の予防のために柔軟に行事の開催日時を調整してもらうなど、子どもの健康を第一に考え保育活動を行っているのが分かります。

馴染みのある先生が辞められたのは残念ですが、人材不足の中にあってすぐに補助の先生を集めてもらったので来年度も安心です。

その外は特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められます。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると、認められている。